

感染症発生動向調査情報(週報)

2013年33週(08月12日～08月18日)

○ 山梨県内流行情報

第33週の手足口病は、山梨県内の定点あたりの報告数が8.71となり、先週の17.92よりは大幅に減少しましたが、定点あたりの報告数は全国4位と依然高いことから、引き続き注意が必要です。

また、ヘルパンギーナの報告について、富士・東部保健所管内で多い状態が続いております。これらの感染症を予防するためにも、乳幼児のいる家庭は特に手洗い・うがいの励行を心がけるとともに、症状がある場合はタオルの共用を避ける、洗濯物は日光でよく乾かす、熱中症対策とも合わせて水分は十分にとるなど、家族ぐるみで感染の予防に努めましょう。

【今週の警報】:手足口病(※定点あたり5.0以上で警報)→中北保健所管内[8.13]、中北保健所峡北支所管内[8.6]、峡東保健所管内[5.5]、富士・東部保健所管内[15.6] / 【今週の注意報】:なし

○ 富士・東部管内流行情報

富士・東部管内においても、手足口病の報告数はやや減少しましたが、ヘルパンギーナの報告数は31週以降多い状態が続いております。2次感染によるケースも多いことから、引き続き、手洗い・うがいを励行し、家族ぐるみで感染予防に努めましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点あたり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	72	0.02	1234	0.42	1293	0.44	1605	0.55	6205	2.11	1632	0.56
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	10	0.42	18	0.75	9	0.38
中北	-	-	1	0.13	-	-	1	0.13	10	1.25	6	0.75
中北峡北	-	-	-	-	-	-	6	1.2	-	-	2	0.4
峡東	-	-	-	-	-	-	1	0.25	4	1	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	2	0.4	4	0.8	-	-
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	15468	5.27	113	0.04	1287	0.44	24	0.01	5422	1.85	644	0.22
山梨県	209	8.71	-	-	6	0.25	-	-	23	0.96	6	0.25
中北	65	8.13	-	-	1	0.13	-	-	2	0.25	5	0.63
中北峡北	43	8.6	-	-	-	-	-	-	1	0.2	-	-
峡東	22	5.5	-	-	1	0.25	-	-	3	0.75	-	-
峡南	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	78	15.6	-	-	4	0.8	-	-	17	3.4	1	0.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	8	0.01	399	0.62	12	0.03	40	0.09	209	0.46	16	0.03
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.3	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	33週		32週		31週		30週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	横ばいです	たいへん流行しています	0.04	1	0.08	2	0.08	2	—	—
咽頭結膜熱	—	—	—	—	0.33	8	0.13	3	0.13	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	やや減少しています	平年並みです	0.42	10	0.83	20	0.83	20	0.88	21
感染性胃腸炎	やや減少しています	平年より少ない発生数です	0.75	18	1.67	40	2.04	49	2.04	49
水痘	やや減少しています	平年並みです	0.38	9	0.67	16	0.42	10	0.88	21
手足口病	減少しています	たいへん流行しています	8.71	209	18.33	440	16	384	13.04	313
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	減少しています	平年並みです	0.25	6	0.5	12	0.58	14	0.71	17
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	減少しています	平年並みです	0.96	23	1.63	39	1.04	25	1.04	25
流行性耳下腺炎	やや増加しています	平年並みです	0.25	6	0.13	3	0.21	5	0.21	5
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	—	—	—	—	0.22	2	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	0.3	3	—	—	0.1	1	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
三類感染症	細菌性赤痢	峡南	女	39
四類感染症	レジオネラ症	富士・東部	男	79
五類感染症	アメーバ赤痢	中北	男	71